

歌に励まされ歌に涙し声を出し手話と一緒に歌いました

今回で4回目を迎える“りゅうよしこ&ダンディーズ 秋を歌う”コンサートが、10月2日（木）午後6時半から外来ホールで開かれました。りゅうよしこさんの歌に魅せられ指導を仰いでいるダンディーズの皆さんは、職業もばらばら。月2回の練習と反省会&懇親会を楽しみにしている、歌好きのお仲間。コンサート開始のご挨拶の中で「メンバーの中にはこの病院の卒業生もいます。今は元気に歌を歌っていますので、皆さんも一緒に元気になりましょ

う！」と呼びかけがあり、患者さんとご家族からは大きな拍手。プロ歌手のりゅう

さんの歌声には心に響く力と魅力があつて、歌が始まるとそっと涙を拭く方や、ティッシュが欲しいとスタッフに申し出る方も。

「5月のバラ」「ソレアード」「あなたのすべてを」「アメイジング・グレイス」「サバの女王」「翼をください」のほかに、りゅうさんの



オリジナル曲「マイホームタウンちば」、旅愁・里の秋・赤とんぼなど秋の童謡を皆で歌いました。声の出せない患者さんは、ダンディーズの4人の女性が手話

で歌うのに合わせて、指で文字を一生懸命作っていらっしやいました。コンサート終了後、ダンディーズのメンバーと一緒に記念撮影をしていた患者さんは、「すごく気が晴れました。モヤモヤが取れた感じ」と話してくださり、メンバーと別れがたいご様子。コンサートの余韻にひたっていらっしやいました。りゅうさん、ダンディーズの皆さん、素敵な歌声をありがとうございました。

